

## 第1回 原子燃料分科会 議事録

1. 日 時 平成14年2月4日(月) 13:30~16:00

2. 場 所 日本電気協会 4階 A, B会議室

3. 出席者 (敬称略, 五十音順)

出席委員: 安部田(三菱重工) 新井(東京電力) 池田(三菱原子燃料), 石野(東海大学) 猪原(電源開発) 大久保(上智大学) 梶山(核燃料サイクル機構) 河田(北海道電力) 木口(四国電力) 田村(中国電力) 常松(原子燃料工業) 藤田(日本原子力発電) 中野(北陸電力) 中村(日本原子力研究所) 古田(原子力発電技術機構) 松本(三菱マテリアル), 松本(GNF-J), 渡辺(GNF-J)

代理出席委員: 萩 茂樹(ジルコプロダクツ窪田委員代理) 前田(東北電力津幡委員代理) 吉田(中部電力熊崎委員代理) 川崎(九州電力本田委員代理) 高橋(関西電力小田委員代理)

欠席委員: 無し

事務局 : 浅井、堀江、小宮、平田、福原(日本電気協会)

オブザーバ: 星出明彦(日本電機工業会)

4. 配付資料

資料 No.1-1 原子力規格委員会の活動経緯について

資料 No.1-2 原子力規格委員会 原子燃料分科会 活動実績及び平成14年度活動画(案)

資料 No.1-3 原子燃料検査指針改定案

添付資料 JEAG4204 新旧対比表

5. 議事

(1) 会議定足数の確認・第1回分科会開催主旨説明(事務局)

- ・事務局から, 委員総数23名に対し本日の委員出席者(代理出席委員5名含む)数23名で, 会議開催条件(分科会規約第10条1項)の「委員総数の2/3(16名以上)の出席」を満たしていることを報告した。
- ・原子力規格委員会発足後初めての公開の分科会として、分科会長の選任、副分科会長、幹事の指名 原子燃料検査指針指針改定案の審議等を主要目的として開催する旨説明した。

(2) 原子力規格委員会の活動経緯の説明(事務局)

資料 No.1-1 に基づき, 事務局から, 原子力規格委員会の活動経緯, 規格策定基本方針について概略説明を行った。

( 3 ) 分科会委員自己紹介 ( 委員各位 )

分科会長の選出に先立ち、分科会委員各位から自己紹介を行った。

( 4 ) 分科会長の選任

事務局から分科会規約第 4 条第 4 項に基づき、単記無記名投票による分科会長の選出を行いたいので、分科会長候補者を委員から推薦(自薦、他薦)していただくよう委員の方々をお願いした。その結果、渡辺委員から大久保委員を分科会長候補者として推薦したい旨の提案があった。他に候補者はなく、分科会長候補者である大久保委員について、単記無記名投票を実施した。開票の結果、出席委員の総票数 23 票の過半数である 13 票に対し、22 票を大久保委員が獲得し、大久保委員が原子燃料分科会長に選任された。

( 4 ) 副分科会長及び幹事の指名

大久保分科会長より、副分科会長に古田委員が指名され、幹事に渡辺委員が指名されて、満場一致で承認された。

( 5 ) 分科会長、副分科会長及び幹事挨拶

大久保分科会長、古田副分科会長及び渡辺幹事から、就任のご挨拶があった。

( 6 ) 原子力規格委員会 原子燃料分科会 活動実績及び平成 14 年度活動計画案の審議

資料 No.1-2 に基づき、渡辺幹事から、原子力規格委員会 原子燃料分科会の活動実績及び平成 14 年度活動計画案の提案があり、審議後、挙手による決議の結果、賛成 23 名、反対 0 名で承認された。

( 7 ) 指針制・改訂案の審議

資料 No.1-3、及び添付資料“ JEAG4204 新旧対比表 ”に基づき、渡辺幹事から原子燃料検査指針改訂案について改訂箇所並びに改訂理由を主体に説明が行われ、引き続き審議が為された。主なコメント等は下記の通り。

本文第 2 章 品質保証で、「品質保証基準の例を」、「品質保証活動の例を」の 2 箇所の「例を」という表現を取り、一般的な記述とする。 の附属書の方で、「例を示す」という記載を入れる。

JEAG4204 改訂版の添付資料 1,2 については、附属書 1,2 として“ 解説 ” の前に入れることとした。

添付資料“ JEAG4204 新旧対比表 ”(改訂版 3 ページ部分)の変更理由の記載については、「電力より、製造メーカー主体の記載のため、電力には使いにくいという意見があった・・・・」の部分について適切な表現に修正することとした。

添付資料“ JEAG4204 新旧対比表 ”(改訂版 6 ページ)“ 第 2 表ジルコニウム合金

燃料被覆材”の不純物 Nb についての検査方法に、発光分光分析法を追記する。  
添付資料“ JEAG4204 新旧対比表 ”(改訂版 1 2 ページ) “ 第 4 表その他の部品(支持格子)(1/4) ” の 3.3 化学成分 Nb, Nb+Ta, Mo, Ti, Al の各検査方法の欄に、発光分光分析法を追記する。

以上のコメントを反映し修正の上, 3 月 2 6 日開催の第 5 回原子力規格委員会に上程することで、分科会規約に基づく挙手による決議がなされ、満場一致で可決された。

( 8 ) その他

- ・ 配付資料の “ 分科会 規格改廃要否検討結果(案) ” に基づき, 新規格の必要性, 規格の定期的な改訂及び廃止等についての第 5 回原子力規格委員会への原子燃料分科会上程案について審議が行われ本分科会案で提示することとした。
- ・ 次回は改訂版の早期発刊を目標に, 3 月 26 日開催予定の第 5 回原子力規格委員会での審議結果を踏まえて、開催する予定。

以 上